

この情報は、山武農業事務所のホームページでも公開しています。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-sanbu/sanbu/gyoumu/gijutsujohou.html>

稲作農家 各位

# 山武稲作情報 第5報(2016年7月15日発行)

山武農業事務所 改良普及課

電話 0475-54-0226

FAX 0475-52-7914

## 山武地域の生育状況

早生品種は出穂期を迎えています。ほ場ごとの差はありますが、全体的に平年より生育がやや進んでいます。また、斑点米カメムシ類の防除適期となりますので、遅れずに防除を行いましょう。

## 参考 生育調査ほの調査結果

【主食用米】 平年値は過去10年間（東金市コシヒカリは9年間、ふさのもちは6年間）の平均値。

品種	場所	年	移植日	幼穂形成期	出穂期
ふさおとめ	山武市 (白幡)	28	4/30	6/20	(7/16)
		27	4/27	6/14	7/13
		平年値	4/28	6/19	7/13
ふさこがね	山武市 (成東)	28	4/26	6/18	7/12
		27	5/1	6/18	7/15
		平年値	5/1	6/24	7/18
コシヒカリ	東金市 (北之 幸谷)	28	4/22	6/24	(7/20)
		27	4/25	6/17	7/16
		平年値	4/23	6/27	7/22
コシヒカリ	山武市 (成東)	28	4/26	6/24	(7/20)
		27	5/1	6/24	7/21
		平年値	5/1	6/29	7/25
ふさのもち	山武市 (成東)	28	5/10	6/30	(7/26)
		27	5/11	7/1	7/24
		平年値	5/9	7/3	7/27

## 【飼料用米】

品種	場所	年	移植日	幼穂形成期	出穂期
アキヒカリ	山武市	28	4/26	6/14	7/10
初星	東金市	28	4/26	6/28	(7/24)
夢あおば	山武市	28	5/10	6/30	(7/25)

幼穂形成期は幼穂長 1mm 以上の稲が80%以上となった日。出穂期はほ場の 40~50%が出穂した日。出穂期欄の ( ) は今年度の推定日。

## 郵便で配信している方へお願い

稲作情報の配信を郵便から、電子メールまたは FAX へ切り替えを進めています。電子メール・FAX をお使いの方は、下記までご連絡ください。

連絡先 水鳥 k.mztr@pref.chiba.lg.jp、 0475-54-0226 (電話)

次回の情報は7月29日(金)に発行する予定です。

## カメムシの防除

等級落ちの原因となるカメムシ類による斑点米は、特に、周囲のほ場と出穂時期が異なるほ場で、集中的に被害が出やすいため気を付けましょう。

また、斑点米カメムシ類（特にアカスジカスミカメ）が多発生するおそれがあるため病害虫発生注意報（7月1日付）が発行されています。ほ場をよく観察し、適期をのがさず防除を行いましょう。

### カメムシ類防除の適期

#### ① 穂揃期（8～9割の穂が出たころ）

⇒周辺の雑草地等から飛来してきた成虫を防除します。

この時期に穂を加害されると、不稔やしいなが発生し、減収の要因になります。

#### ② 出穂15日後頃（乳熟期のころ）

⇒穂揃期に飛来した大型カメムシ類の幼虫が穂を加害するのを防除します。

カメムシ類の発生が少なければ、この時期の1回防除で効果があります。

乳熟期以降に穂を加害されると、斑点米が発生します。

※収穫期が近い時期での防除となりますので、薬剤の収穫前使用日数に注意してください。

### 山武地域でみられるカメムシ類

ホソハリカメムシ



成虫の体長は約 10mm 前後で、肩のところがトゲのように突出して褐色をしています。

クモヘリカメムシ



成虫の体長は約 16mm 前後で、細長く黄緑色をしています。



クモヘリカメムシ 幼虫

アカスジカスミカメ



成虫の体長は約 5～6mm で、淡い黄緑色。背中の太い縦条は橙赤色、触覚と脚も赤く、特に後脚の赤色が目立ちます。

イネカメムシ



成虫の体長は 12mm 前後で褐色の楕円状、背中に白い点が見られます。

シラホシカメムシ



成虫の体長は約 5～7mm 前後で、前胸背板は灰褐色で小さな黒点が散在します。中胸部の両縁に黄白色の斑紋があります。

アカヒゲホソミドリカスミカメ



成虫の体長は約 5～6mm。体は細長く淡緑色で、触覚に通常 3本の赤いストライプがあります。

カメムシ大きさ比べ（実物大）



アカヒゲホソミドリカスミカメ